

西知多道路金沢 IC（仮称）周辺広域交流拠点に関する サウンディング型市場調査の結果について（概要）

令和7年2月21日
知多市都市計画課

1. 調査概要

西知多道路に設置される金沢インターチェンジ（仮称）の周辺での広域交流拠点整備を検討するにあたり、市が提示した市街化調整区域内地区計画や民設民営での事業の実現可能性について民間事業者の方々と対話を実施した。

2. スケジュール

実施要領の公表	令和6年11月7日（木）
サウンディングの参加申込	令和6年11月7日（木）～27日（水）
サウンディングの実施	令和6年12月4日（水）～13日（金）
結果概要の公表	令和7年2月21日（金）

3. 参加事業者

9事業者（企画・建設業者：3者、運営・維持管理業者：6者）

4. 結果概要

①事業内容について

市街化調整区域内地区計画（地域振興系）を踏まえた事業実施は実現性があると考えられ、事業内容としては、豊かな自然を活かしたアクティビティ施設や地場産品の直売所・飲食施設などの意見が挙げられた。

②事業用地について

敷地面積は2haから5ha程度必要であり、物販・飲食施設はインターチェンジ出口付近で、自然を活かしたアクティビティ施設は旭公園との隣接地での事業化が望ましいとの意見が挙げられた。

③事業スキームについて

市街化調整区域内地区計画（地域振興系）が設定された土地を取得することは、転用等が困難であると考えられるため、参入リスクが高いとの意見が挙げられた。

また、市有地又は市が取得した土地での事業化や広域交流拠点のビジョンが明確に示されると参入意欲が高まるとの意見も挙げられた。

④その他の条件について

公共インフラや交通インフラの整備、地元企業や地元住民との意見交換等を行うなどの機運醸成へ取組に関する意見が挙げられた。

また、事業化について西知多道路開業後の実施が望ましいとの意見も挙げられた。

5. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングでは、事業内容や事業用地、事業スキームについてご意見をいただきました。

この結果を踏まえ、事業内容や事業用地に関する内容の妥当性を整理し、事業化に向けた検討を進めていきます。